五,

年度

万は万増約名会44円の金増員

り活業た 5 5 、 1 額 の 数 の ま 動 率 。 0 0 就 億 は 3 が 事 し は と し 人 人 業 2 4 0 新 業

便れ 便れ(別近

しまジマ

屋敷など、被害を被っ

ち戦の前

が一部残が一部残

って 囲上 いい

杉まの

って田

0

 \mathcal{O}

誌ち

字船

敷など、戦前の面影が一部残害を被ったものの、立派な石字船越は、先の太平洋戦争に利な現在の地へ移動しましたに伴って上山にあった集落はに出し、が開墾によって水田と

洋戦争に

0

7

見事な門構えの上門家

上門家西側の石畳道

発 足

組織整理

今年

セ

テ結果が以

ッ集で懸下、

`るに役は

次。取職、に更り員大

繋に組及湾

げ英んび理

る知だ会事

スを結員長

`n

で 虔

十は、

年

や目本

事の

業 節 ン

の目

拡で

 \mathcal{O}

村正

大あが

る。

備

を図り、

今日

の発展を

み

毎年ミーメ (国元) (国元) (国元)

います。こので、糸数按写

が接司

3家の子

メー綱引きと、

います。

で、

富才家

(祝

女。

3

門

ます

さる

・カミーン 神霊の祟り

などで恍惚状態にな

ること

受け

上

座

力

ザ

神に仕える

ラ

や門

中で祭祀を司

る

n

役目

う

公

社

全

国

有

料

ホ

ム

14

口

シ

バ 言

入

作会

・カミダーリ 食べごろ 食べごろ の

食

ベ

残

食べ

物

ヌクサ

カミ

A

ク

定かではた数按司

パート 18

| 本ず | 本ず | 本ず | 本ず | 本ず | 本ず | 本 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 | か | 上 |

集落前方

0

広

出となり、 は、ことな

そ地

農耕に

ます

「立た」によっている。

世鎖り

シャン 火[®]と、

の。船かの

神越城」

次ぐ

番目

大き

きと

屋我和枝)

 $\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$

妻酒大ま

j

言

j

妻

は

不

つい

ず

11 ミそ

て足元 Ġ

れ

び

る

な

遺

き

み書

ば換

何え

も倍

な返

恐元粗

を豪ゴ

天 今

使は

にシ

変ラ

えフ

たで

認 千

知鳥燃

症足物し

スの上山、「上間之と当時の船越集落は

は

現

在

あ

>

愛

Ú

0

3

ち

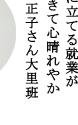
な

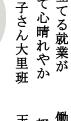
パグ

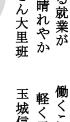
p F

10











玉城信夫さん佐敷

ち

チには、

次

 \mathcal{O}

同

文字、

軽く元気になった働くことで体が















カミ」 音

もそうで

ね、

あ

۷

面

白

V

で意味が全く異

なるも

 \mathcal{O}

が Ć

あ

ŋ

(ます。

次

 \mathcal{O}

カミアチネ

載せ

魚などを売

り歩く商

わった~ がんじゅう隊

新年早々グランドゴルフを楽しむ 玉城青少年の家

チにンエ裁 タ はのまがりェる

一引

き

き

ららに

推就拡

た地は

回ア

月

我がシルバー 伐 設 所 採現新庁

ま員を独 木で舎市

しの大自 た就き 事 業 く業 増上が に回 繋り前 が 、年

(公社)南城市シルバー人材センター広報

共助

人材センター会員、事務局職員、玉城青の事業運営につきまして格別のご理解として格別のご理解としてもまして格別のご理解と

一泥タ

酵

の堆お

て

売が「セ 等に汚ン

り会度の

くはン

号 醗

生 肥

産

販

裁の建役 新の業年製は は (約500(約500

いをは を しは故 発生 社 第 シ シ 会 ル 的 ル

難し 今年 会年 員

を 対 を 対 対 がに派遣事業の就 が また、で は、、。 な額でした また、で 喜ミ話買間者女常始

に等出な食な分関 つ事 できるように 発養のある 栄養のある います。の効果は 徐 たがにるにみの

知恵の輪 人の輪 社会の輪 入会まっちょ~いび~んど-

(公社) 南城市シルバー人材センター

電話(098)852-6655

産 寄 与 L \mathcal{T} 1

ま

参

ŋ

ま

各

するとともに、 各種就業を燃 前年度のを

継各

びにな

体験活動及びその生徒を中心とした 青 技 \mathcal{O} 0 指た定玉 も事就業対多他 管 う活で会続事 飛展開する また、 動に 員 あ

ŧ

る

くお

参加する

る

 \mathcal{O}

るボランティア 社会参加活動

第019号

《安全

適

正就業第

公益社団法人

成

29

に会あ計

年度の

発

行

前年度は行

南城市シルバー度は行政、議会、

が不上女子目ら

と性現会

貢 役 員

と手向

できま

た。

工

コグ

IJ

足に

拶を

申

ます

育て支に常生活・

市民、

南城市シルバー人材センター

南城市玉城字富里167番地

e-mail:nanjo-sjc.com.

各会員

取

ŋ

組

み

期待

会員と就

0)

拡

電話 (098) 852-6655

ファクス (098) 852-6656

日開 を

時 齢 すスよ続 もテうけ のム地る

全 め安 セ暮ら元 組 4 タせ気 ます る で もた

南 ご展城市 理 祈 構包とのし 築括が最い 事り 東東とごないの限りた。 をケで後暮 目アきまら 支 指シるでし 拶げ多員な

変ゴ よア 動 ます り常 ておの発 での域こ生ら 援 12 ししを様ご

(新規入会30人2年以内20人)

∛※発注者アンケート結果は、次回♡

\

就業の配置方法は満足していますか

※ 対象者:正会員50人

∛※調査の方法:対面調査

に掲載予定

平成28年度

t大変満足

■ まあまあ…

■ 少し不満

■ とても不満

第019号

(2面) 平成29年5月1日(月)

(公社)南城市シルバー人材センター広報

5

4 3

2 1

理平平成 平 平 成 及 29 29 足

年年の29

+度予算案 ・大会承認 ・大会承認

日

第019号

年度 第号回 1 議案 12 正書 (書面) 度員 のの会 事 入 事業実績報:八会承認平成29年1 0 動 月 30 日 き 月

平グ

成ラ

28フ

年で

度見

4

캪

年

3

月

る

動 月

き

第 第 第 2 1 6

日

号議案 高回理事· 号号号号 (職務) 第 会 2 2 承 月 < が回認23 告 況に 1 正 報 金 要績 告 号 予 求 報 事 案

業

報 報 報 第 第 第 告 告 告 告 3 2 1

2 1

額告

要綱案 一般企業 個人·家庭 独自事業



告告告43

及び監事

者

出

遊玉2理休城月事

(初期

つ

に 業 1 実

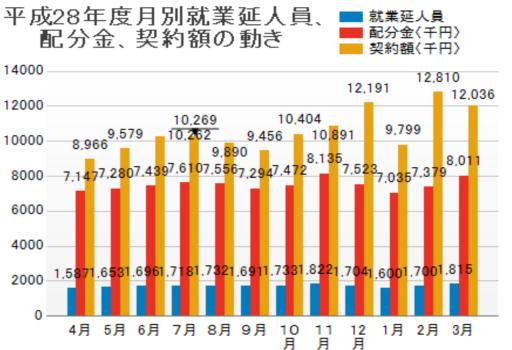
43

事

告 況

報

告



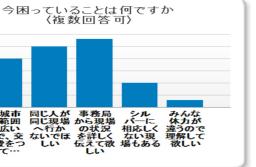
場日平 所 529 総会に出 南 城市日 日 0) 席 さん揃 ま 公民 よう

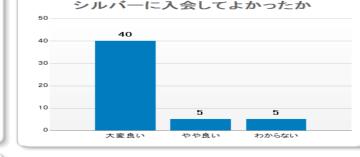
2総時

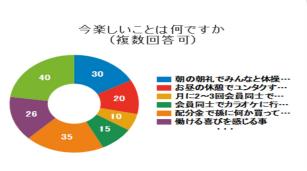
平成28年度月別発注者別

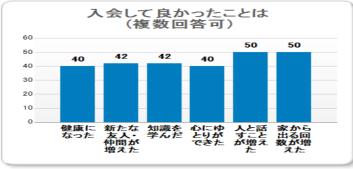
受注件数の動き

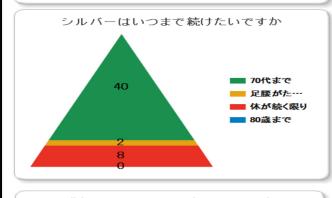
会員意識アンケート調査結果 入会の動機 10 一 市の広報 ■ シルバー広報 ― 知人・友人の紹介 ■ シルバーの就業を… その他

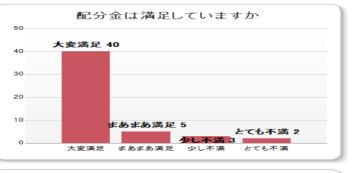


















乗用草刈り機の講習会 周囲も地面の状況も注意して



ハイ草刈り機の取り扱いは~



伐採樹木の処理も手際よく



草刈り払い機取り扱い講習会 常に安全点検に注意して



斎場御嶽の駐車場整理

第019号



親切・丁寧に高齢者生活支援



やっぱり安全講習は必要だね!



サンサンビーチのチケット管理



安全・ 適正就業講習会 受講姿勢・態度も一級です



介護講習会(車椅子移動)



介護講習(はいアーンして)



緻密な家屋の補修作業は依頼者からも好評です

い用れい称

4

販 汚 運

イ立の

ン毎

るま賛

すの

声

が

寄

派知シ利る

化に恵ル用中解

々立せ術会た材棄活のい

中古機材を創意工夫で再利用に取り組む会員

さ労

(当セン

き

学習

新玉の家用勤

学ふ

< 当

積の

葉に

 \mathcal{O}

 \mathcal{O}

育

の市

Š

あ

農

木れ

移

腐他は

努

て

てら肥水「ま極

し大が

て臣に

くすめン南

独 順

自 調

めをさ躍生まにイし、再れし産す取シ

ラ

く可号に歩

せ市発は発ん

売泥びら民酵農しで業人

しを込れか堆林たいは材

。てタ城

のシ

独ル

バ

· 自

事

。为化

体

験

農

場

ふ

n

あ

(J

農

園

 \blacksquare

0

0

新

一組

4んでい 自動化」 シン シン

と産

多認

 \mathcal{O}

そ搬連作へ将ま嬉=

、で庁

理れ工出舎

わるンる伴

タ 原

ンタ

処さ

らた

で

にてコ

大いセ

対率化を関に当せ

生

を肥

ラ指産

の入日業新来すしエク

拠

点

地

整

備

らたタ原う備光げ)(わめー木伐工振てが通

くま

いで

植栽

はな

念字

Ш

里

新

ŋ

ま

す

さの8

是

南

城 嗚

市 を

観

、にが開事興い今称サ

お

ラ

台

する試みを実践するして本土メーカーに企業) し白髪染め医

エコチップ化された伐採樹木

白髪染めの原料「ヘナの挿し木苗」

0 軽

0

円

分 非ご

活積で

荷す

光げ

悲

るン南

のシ

わ

ŋ

庁

設

が

後

Ŋ

採

壮口

材

稅

て植垣

備借

が地

と定

め現

ら在

で々予

進

れ

目にそ

しを後

て提に

まきの

る 希

う 農

の保

やの

` 9

で内

望

家

新指苗の

のい供市

ヤンのも、いる。原のは、原のは、

がはろ着を

事

業

行シす

事

業

展 き

開に

大

き

ま

先 当

実ルが

期待

ン独ル

エ自

コ事

IJ 業

いコル

タ タ

セセ

m。な土ずわしッき

土のい

* ます。 原木チ を袋づ

きます。

。腐は草販木

栽びけ市び

1/湾コマ

デール サーハーナー

ナ

るに原燥を並受

薬草 ツ

ナ

: 内市

白の当

7局のご指述

を借の

り

化れり

て

料とし、おおし、おおいのでは、

さ

端

盛

仁

さ

ク

ラ卓

玉

城ん

要

理 事 及 出 び 監

事

補

者

れ事

及

び

監事

候

補

ぞ

推

薦

る

第 れ

口

委す

定

日事3選「者次りび 同施会月出理の期、監平 行に23要事選理定事成 さお日綱及 出 事時の29 が必要 _ (X い開 及総改年 び会選度 催 を監 決定。安なた 監に期は理 た29補め候けあ事 補てた及

同理年者 2 ま出事を委催候日 開回しに及選員さ補第 日 ま 委た向び出長れ者1 。け監 で 員 。に 選回 ること 協て事早中互出理 会 各 を 議検候速村選委事 の討補 委 4 正の員 月 結 に者次賢結 会 員 が定25果入の期理果が監 日第り選理事 開

及 び 事 名 特 正 候のでとを期 補あはにそ理 薦 L 会 理 員 た。 事 理 候 者 0 補 事 各 のた 候補 لح 監 者 中理 \mathcal{O} 委 候補 を 理事 か 事 8 な決事候 者 名

法 今 口 か 様 6 て 方 ま 推 1 別員事薦会こ者

導 入は さ まし

力は良に所属 出表は、一個のの場合に表している。 ブ球 次 るのチ弱 れ

(聞き手 る 屋我和枝) 思 ま

(6面) 平成29年5月1日(月)

29 てル地

ス

た。ツ前

賞

を 南

功に

労は

受 城

賞市

ま平業

を在端会

は

三ン

信

姿し選金

感さのダ

動な重

ッ端

リ元

ク

手メは

体量スオ

たで挙トリ

さ

続まさ

けでん

t + +

南数代

今 六

んを

る戦

張 観 義

を楽人いでし

球現川入みしたたきなしんみ宅軍

年いバ域考仕タ4る1のえ事ク

月ので友てがを

宅ピ川まポ6ててのんい各

ま

す

州

を展用員、大工できました。 ながら楽した。 ながら楽した。 ながら楽しく ながら楽しく ながら楽しく ながら楽しく ながら楽しく ながら楽しく ながら楽しく

すけ信が口れに る挑の頃し てがでま か現在の彼を支え続い現在の彼を支え続いました。 はいなかった。 はいでは?と重量挙げいでは?と重量挙げいでは?と重量挙げいます。 はいきました。 を過ごし百キーできました。 が現在の彼を支え続います。 はいます。 はいまする。 はいまる。 はいな。 はいな い現 いえの ^^^^^

(選

考基

準)

及

び

-

とれ理

総会

会の候

考 員

 \mathcal{O}

う

ち

6

る

ŧ

 \mathcal{O}

す

委

員

長

中

村

正

賢

理

事

員

大

湾

政

松

理

事

念進

副理事

仕 定

事を

に

績

を

残

ま

口

す 優

る 勝

等

しし上ねしを尻

年い九部り成2会

でん

大神ピ

会縄ッ

に県ク

も代65

仕

事、

大

で

準

受賞式の川端さん(中)

正正 一会員 会 員 の理 中事 かの ら候

8 補

れ る理 で 及員 \mathcal{O} びの

期間 選 る

監 任 事 期 がは 。任次

さ期

益社 事 団 及 法 人 び 監 城市 事 候 シ 補 ル バ 者 選 出 材 セ 要

4 選 に

ょ

すは

委員

 \mathcal{O}

互

委

5

チの任

表

委 員 り 委

の理運委る

日事営員

世期満了 (長は、) (長は、) (長は、) (長は、)

第 監も4者名条推を監明 人材団法 (趣旨) (趣旨) は、 (趣旨) め事のン 人 南 る候 規 タ \mathcal{O} も補定 城 要 に定市綱 の者 との係款シは す選る第ル る出理23バ公

方事条 | 益

推認者特に以下 を選りを選り 「委員会」 補構成めに理事 て、 正会 選 するつ及 考 る選 いび 委員会と、では、どの監事候 を事か員 N おう。 ょ に承補び びを第補

23 こ 附 定 事 事 も 5 日 の 則 め 項 の の 条

るは選の

員 関

会に

、考にかの

し理綱

お必及定

い要びめ

てな監る

`事に

、要

か要

ら綱

施行に

る成

29

年

た験とン人者3 人者 有めし城推 の市薦理 のし 6 事シは事 れ 次 業 る ル 運 バ公一益 の知 る 基識営ー益監準及に人社事 をび必材団候 満経要セ法補

あ 正会員に ること て あ 0 上 のは 会

 $\widehat{\underbrace{4}}\widehat{\underbrace{3}}$

薦 ま事委

す

なるようから4人 員た \mathcal{O} \otimes 者 以 推 4 は 内 女 るこ 積性 薦に \mathcal{O} 別 以特 極 推 \mathcal{O} 努 的 内 別 薦 登 るこ めに لح の会 用 玾 る女をと 推員 な も性図 。薦のの る の会る と中候

> (委任) 推薦

推薦しなければなないまでに候補者をW

を選

な笛の及す

日監

b

え事 の $\widehat{\underline{6}}$ $\widehat{5}$ 旨相に る事 ること。 と候 \mathcal{O} 互あ 1 職がは者 ること。 了のつ 監事 ŧ 解 選 会員 \mathcal{O} を 考は 3 `を 候 期理再架 得 補 る同候 6事任事 者 ること。 も意補 年及選及 \mathcal{O} のす者選 をび考び とる 考 超監す監

理

事

及

び監事候

補

選

委員

公委員

成各4 (委員会) 号 条 る \mathcal{O} 委 委 員員 を会 もは っ ` て次 構の

委

員 員

古 知

謝景

事

 $\sqrt{}$

Ш 城

> 男理 進理

事

そ地副 理 の他は事長 長 名

> 員 員

徳 盛

雄班

長

 $\widehat{\underline{2}}$

者 名 理 事 長 が 推

員

當

正

信

班

長

班

長

Ш

地

域

班

長

員

城 宮

間

幸

班

長

る

な をサ ツ学育 ま マ童園 整 モ 園 6 の児施 植た設 えち 付が 1 ほ け 体 早 5 は 験 速

て㎡こいかれ 6 6 (約5 れまで ま 0 す でm² 0 O) _ ほ 2 備 場 0 さ 0 れ り坪た1 広 で場 な 6 つ 5

ルてが に 青をいるスた をがて 伸は 題セ

てシモシにン 耕ルのョなタ整 運が、後べつ | 備 代 肥が 12 機 1号」の会員が つが年入畑キ \mathcal{O} 緒 家 ツ通次汚に職伐パび 農プ路製泥な員開ワ放当

敷敷を酵く草施く な など、1 見見た。 なコちの 体 チ の 2 験 場をに品醗っや

に変 きッ る予定 は 身 定モ では、 今 回 まし 直に 京 玉 11 植 児 え 城月 た 青頃 \sim

穫 家して Š た芋 穫 芋 · を 使 0 \mathcal{O} 料 イ 理モち少収け てちも、ツ穫月付児ま験や収のでサ



でを習り 予に対象 城場童 指定管 青との 少てて育 場 一セ里内 の活や 共の国に対する 保 ま童、 育園 保 転 育 船 及び 園 越 保 0 む育 0



角ン新玉にタ垣城

原

転整備 表がれあい

さ培ルら農

愛地 ぎ園 友 \mathcal{O}

下け達 定 ス

遊子お カズラの植え付け中 (かかり) ż やジ 頃験は そ ジャでの後 を 理体 後、引がかる。 て ガ頃 モ 行モき画 モいの続し \mathcal{O} 植きて 収2え園い体餅が年穫た